

放射線被ばくの影響に関する調査研究について

平成27年8月31日
福島県県民健康調査課

1 実施方針

本年5月18日に開催された第19回検討委員会において、甲状腺検査評価部会から「中間取りまとめ」が報告され、その中で、放射線の影響評価について、「今後、どういうデータ（分析）によって、どの程度の大きさの影響を確認できるのか、その点の「考え方」を現時点で予め示しておく必要がある」との見解が示された。

このため、福島県として、今後、放射線被ばくの影響を確認するための調査研究に取り組む。

2 実施方法

- ・調査研究は、福島県から福島県立医科大学への委託事業の一環として実施する。
- ・調査研究には外部からの専門家を参加させる。
- ・研究計画の概要を予め検討委員会等に提示する。
- ・調査研究の進捗状況を検討委員会に適宜報告するとともに、研究成果として学術的に公表する場合は、その概要を公表後速やかに検討委員会に報告する。

3 現在検討中の調査研究

- ・甲状腺腫瘍の進展モデルを用いた甲状腺健診「悪性および悪性疑い」数の推定に関する研究
全国甲状腺がん罹患統計に基づいた甲状腺腫瘍の進展モデルを用いて、先行調査対象者において「悪性および悪性疑い」数(期待観測数)を推定する。
 - 研究メンバー
福島医大、大阪大学、名古屋大学、放射線影響研究所の研究者によるプロジェクトメンバー
 - 成果発表
研究成果を論文としてまとめ、公表後速やかに検討委員会に報告する。

4 今後想定される研究テーマ

- ・年齢階級別検査結果のデータを用いた記述疫学的探索研究
一次検査結果、二次検査結果(病理細胞診結果等)を年齢階級別に記述疫学的評価を行う。
- ・甲状腺腫瘍の地理的分布に関する地域相関研究
甲状腺腫瘍の地理的分布に関し、関連要因を解析する。